

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	八戸工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ハチノヘコウギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	北海道・東北地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	学外研修(電気電子システム学科)
	学部・研究科等名	電気電子工学科
	担当教職員名・役職	関 秀廣・教授
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	4
	受入企業等数	86
	受入企業等名	日本原燃株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社ほか
	インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年生の夏季休業期間中に、希望者のみがインターンシップに参加する。インターンシップを希望しない学生は、施設 見学に参加する。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		3年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		専門科目であり、必修科目であるが、3年生を対象に、夏季休業中に、希望者のみが就業体験を伴うインターンシップに参加する。インターンシップを希望しない学生は、施設 見学に参加して単位修得する。インターンシップを希望した学生の参加する企業は就職課からの受入企業情報をもとにマッチングを行う。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用手法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	4.その他
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	報告会等により、インターンシップの成果について、学内で後輩などに伝達している。
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生は、インターンシップに応募する申請書にその企業を希望する理由を書くようになっており、事前に調査・研究を行ってどんな仕事を見たいのか?体験したいのか?を書かせている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生には、インターンシップにおける自己の体験談を、下位学年の学生に発表会の形で報告するよう義務付けている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	3年担任教員を中心に、インターンシップ先の企業を訪問し、巡回指導している。遠隔地であっても、可能な限り受入企業を訪問し、学生との面談指導、企業担当者との面談を行っている。

要素④	4-1. インターシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1. はい
	4-2. 該当する教育的効果を測定する仕組み	1. アンケートやレポートの作成をインターシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4. その他
	4-2. 以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	インターシップ先が記述している学生の評価簿を基に評価を行う。
	4-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生には、報告会の原稿を書かせる一方で、インターシップ先の企業からの評価簿で定性的な評価を行う。
要素⑤	5-1. 一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターシップの実施期間を確保していますか。	1. はい
	5-2. 該当する実施期間	2. 事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2. で「1. 連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. で「2. 事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間(うちインターシップ3～5日)
	5-2. で「3. 複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. 以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターシップの実施期間は受け入れ企業によって様々である。そのため、実施期間が5日未満の企業に参加した場合は、事後学習を行わせて時間を確保する。	
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	4. 受入企業等も、インターシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2. 以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業には、評価簿を書いていただき、勤務態度や意欲、成果などを記録してもらい、大学側に提出してもらっている。大学側では、その評価簿を成績評価等に使用している。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://gak.hi-tech.ac.jp/
問い合わせ先	大学等名	八戸工業大学
	担当部署名	学務部 就職課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	栗橋 秀行
	電話番号	0178-25-8029
	メールアドレス	job@hi-tech.ac.jp